

たちばな

2024.1.1



富士山



立正大学校友会
公式ホームページ



立正大学校友会
公式LINE

令和5年度 校友の集いホームカミングデー in橘花祭 開催報告

11月4日(土) に品川キャンパスにて「令和5年度 校友の集い ホームカミングデー in橘花祭」を開催しました。今年度はコロナ後初めて学内への入構制限も無く、開催となったことをうけ、多くの在学生のクラブやゼミ等での模擬店出店や教室企画、卒業生による地方物産展なども開催出来、久しぶりの再会で賑やかに楽しく、在生との交流もふくめ同窓会の皆様は充実した1日となりました。また、当日は、卒業生・保護者の皆様を始め、地域の方等多くの方にご来場いただき盛況のうちに終了することが出来ました。ご来場頂きました皆様、イベント企画・模擬店等で出展頂きました卒業生はじめ企業の皆様に感謝申し上げます。

教職の集い



遠藤広大氏講演 (経済学部卒業)



上原洋祐氏講演 (大学院修士地理修了)

立笑 (正) 点

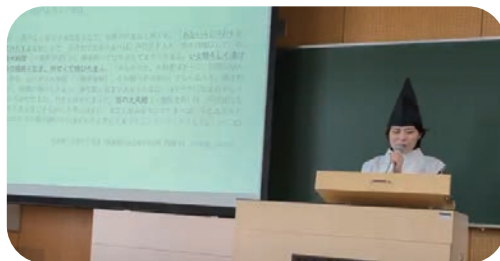
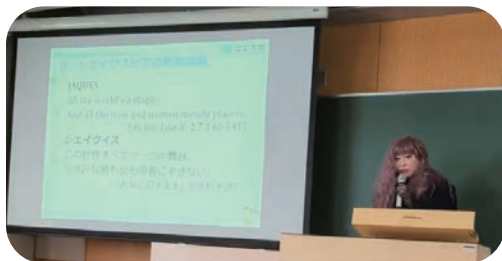


橘会×キャリアサポートセンター



就職講演会

文学研究科
修了生の集い



キッズ
ルーム



写真で
見る



立正大学の歴史（大学史料編纂課協力）

懇親会
風景



お金のお話
基礎のキ



三井住友海上火災保険 三輪様

同窓会
物産展



第58回 橘花（きっか）祭

テーマ 祭瞬（さいしゅん）

人生において、最も旬で煌びやかな時間である青春の喜びを、来場者・実行委員共に感じることが出来るような橘花祭にしたい



橘花祭



受付



パレード 応援指導部



軽音楽部



縁日



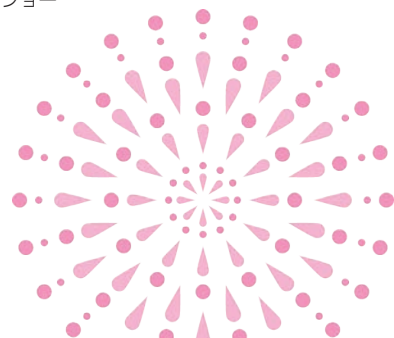
ヒーローショー



模擬店



Ris哲



現代写真研究部



第14回
モラリオ賞表彰式

令和5年度 保護者懇談会開催報告 8月～10月

令和5年度の保護者懇談会は、6月の仙台会場からスタートし、12月の熊谷キャンパス開催の全国9会場にて開催しております。

保護者懇談会は立正大学に在籍している学生の保護者の皆様と教職員が直接交流を持てる機会として開催をさせて頂いております。

今年度は全ての会場が終了しておりますが、令和6年度も開催致しますのでご参加下さい。

今回は、8月から10月に開催致しました保護者懇談会報告を掲載致します。

保護者懇談会詳細、就職講座動画は校友会ホームページの「保護者懇談会サイト」よりご視聴頂けます。

【校友会保護者懇談会サイト アドレス】 <https://alumni.rissho.jp/parents/index.php>

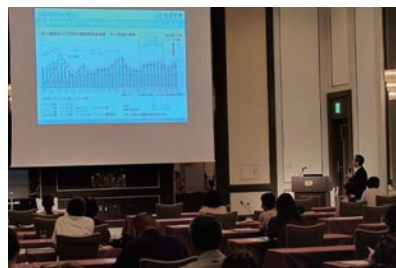
◆ 8月6日（日）埼玉県さいたま市「パレスホテル大宮」 参加者：42名



位田副学長 挨拶



若林橋会長 挨拶



保護者のための就職講座

◆ 8月26日（土）静岡県浜松市「ホテルクラウンパレス浜松」 参加者：11名

◆ 9月9日（土）福岡県福岡市「オリエンタルホテル福岡博多ステーション」 参加者：11名

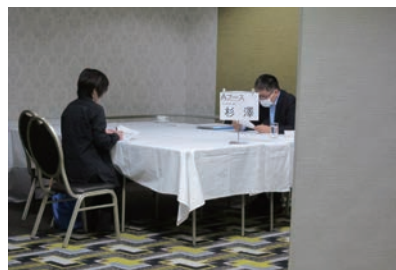
◆ 9月23日（土）千葉県柏市「ザ・クレストホテル柏」 参加者：30名



学長動画メッセージ



同窓会千葉県支部役員の方のご挨拶と教職に関する説明



個人面談風景

◆ 10月14日（土）北海道札幌市「ニューオータイニン札幌」 参加者：4名

【動画公開】

保護者懇談会サイトでは、保護者懇談会に日程の都合等でご参加頂けなかった保護者の皆様向けに、7月9日（日）品川キャンパス開催の動画を掲載しておりますので、ご活用下さい。



校友会費B等の納入者芳名 (敬称略 五十音順)

～ありがとうございました～

(令和5年8月1日～令和5年10月31日納入分)

◆北海道

伊東 正明
遠藤 弘
奥田 勝昭
川瀨 怜
喜多 龍一
久保 隆二
近藤 真司
今野 公一
高橋 定敏
御家瀬 裕
村椿 幸二
守田 静男

◆青森県

工藤 明
品田 均
間宮 康文

◆岩手県

斎藤 純
滝田 浩之
田鎖 英明
武田 勝
西山 昌秀
渡部 紀子

◆宮城県

小野 睦一
佐藤 泰宣
永戸 太郎
吉田 一彦

◆秋田県

海道 利夫
加藤 博明
齋藤 雅夫
土田 知揮
仲村 正人
水野 聖和
山本 侑玄

◆山形県

秋葉 良一
荒木 敏彰
川越 正彦
鈴木 明弘
高橋 重志

◆福島県

浅野 不二男
太田 正孝
奥田 信一
坂内 久美子
佐瀬 栄
佐藤 優之介
鈴木 秀魁
鈴木 秀鳳

鈴木 務広
永沼 直好
新妻 宏明
羽田 豊秋
福王 賢二
渡辺 正弘

◆茨城県

大林 由美子
木村 浩二
国谷 昭一郎
小菅 大康
篠崎 一美
橋本 謙静
橋本 一静
伏見 広樹
吉岡 利恵

◆栃木県

荒居 養雄
出村 誠
齋藤 順昭
須藤 進太郎
三上 隆敏
横山 真康

◆群馬県

植原 孝行
関口 拓
塚越 康子
宮崎 広保
柳沢 博文
柳澤 諒子
吉崎 鉄平

◆埼玉県

浅海 勝也
芦澤 賢士
井上 隆二
岩崎 晴典
奥口 賢
笠原 保行
片岡 勇次
金子 元紀
川島 本良
桑原 克夫
小林 美恵子
小宮 忠之
小山 久夫
佐山 邦彦
設楽 健士
下田 雅之
白井 圭一
鈴木 順浩
高橋 孝志
高橋 康司

内藤 文博
長堀 明英
野辺 とに子
萩原 実
原田 和義
平間 健治
保利 俊光
三友 健容
木元 弘
山崎 光洋

◆千葉県

穴小 清一
石野 晴朗
今関 幸男
伊藤 貴臣
遠藤 了義
太田 典義
大森 俊栄
尾形 勇
岡野 久
小川 健太郎
川島 洲住
川村 治
北尾 義昭
木村 順誠
勝田 紀彦
小島 修
児玉 常常
児玉 常優
小室 進
近藤 良雄
櫻井 智照
十文字 佐太吉
白井 道男
関 陽子
竹田 軍郁
田中 貞真
田中 貞龍
田中 安人
鶴岡 宏祥
出口 智隆
中井 鳳孝
蓮沼 寛太
林 道子
廣島 文瑛
藤崎 剛
増田 寶雲
松本 照朗
水合 和美
宮野 雅之
上村 貞雄
吉江 光善

吉田 文雄
◆東京都
阿部 泰雄
阿部 珠央
荒居 妙蓉
石上 裕二
伊藤 秀紀
岩倉 宏
宇田川 彰
太田川 宣昭
岡部 禎司
岡田 大
春日 寛
神川 清
河又 浩昭
川村 雅彦
橘高 智行
小泉 雅子
甲州 誠佑
斉藤 喜一
佐藤 勝也
佐藤 貴一
潮田 恒明
島野 隆行
鈴木 達明
鈴木 正藏
高鳥 幹男
多田 統一
田淵 保夫
津村 正信
津村 正康
富田 蓮右衛門
外山 寛徳
中川 守
中野 紀子
西 義雄
西澤 民夫
新渡戸 智純
二ノ宮 啓吉
野村 伸子
橋本 重喜
早川 典久
平田 治之
平野 舞
廣瀬 衛
藤本 幾久
星 弘道
堀之内 三雄
松野 好一朗
丸山 佐市
水嶋 幹夫
水間 寛代

水野 広明
宮下 正
村田 正
望月 兼雄
八木 日照
矢口 勝博
矢部 貴章
山本 高史
山本 美枝子
横山 裕
吉川 哲夫
芳田 守
若松 文雄

◆東京多摩

赤塚 正坦
伊藤 伸一
大谷 治
岡部 光謙
倉田 陽造
河野 庄二
嶋崎 晶子
嶋崎 康夫
高木 敦子
野口 眞澄
増田 敦子
谷藤 昌宗

◆神奈川県

赤岡 龍男
飯田 重明
石井 亮一
大黒 和登
岡本 篤人
小川 浩明
小川 浩正
小田切 俊樹
勝保 眞和
金井 義博
金子 竹成
金子 元彦
倉多 亮修
國府田 久遠
國府田 義昭
佐川 篤志
佐藤 力
嶋田 一成
鈴木 征
鈴野 佳子
曾根 隆男
田川 貞光
寺沢 和彦
内藤 潔
西村 健

二村 昭男
羽田 麗人
平塚 隆
平本 俊弘
藤田 秀雄
堀内 良明
丸島 光雄
三宅 恵公
村山 由吏予
森井 健吉
森井 茂
森田 喜久
森本 宏
柳川 仁江
柳原 信之
山村 徳
由本 健二郎
脇本 謙次男

◆新潟県

秋山 文孝
海津 英祥
佐藤 久美子
佐藤 幸一
渋谷 文崇
竹内 孝浩
中川 寿夫
中町 理
飛田 泰二
松月 秀一
丸山 稔
山田 正毅
和栗 昌夫

◆富山県

海内 幸雄
清水 浩二
中山 博昭
鉢呂 福子
南 幸博

◆石川県

榊原 昭英
永田 一孝
牧 行宣
◆福井県
桑田 博敏
末富 攻

◆山梨県

秋山 一子
朝比奈 玄馬
内野 光智
佐々木 淑文
角田 義晶
仲澤 浩祐

仲澤 哲志
町田 英昭
峯野 高弘
屋敷 元信
山田 厚
山本 本也
米木 義旺
米山 徳彦
渡辺 秀子

◆長野県

石合 祐太
大橋 小雄
倉石 康成
小池 重治
佐藤 一郎
塚田 賢
永田 完道
福島 隆雄
宮沢 洋介
渡邊 忠信
◆岐阜県
北川 淳司
矢野 忠臣
矢野 義己

◆静岡県

旭 日重
伊藤 佳通
植木 (藤田) 和久
瓜島 信行
大石 純厚
角田 憲哉
兼高 裕
狩野 吉利
佐野 滙要
柴川 正巳
竹内 一良
廣崎 本幸
深澤 尊明
丸山 隆久
森川 勇介

◆愛知県

天野 行淳
石黒 泰良
竹山 晴美
深沢 友延
深沢 友遠
◆滋賀県
辻 行延
中村 龍明

◆京都府

佐藤 文則
長谷川 正法

藤原 良恭
堀田 泰盛
三好 孝能
◆大阪府
石川 義亮
石川 泰皓
菊池 明澄
中西 誠
長谷川 鳳秀
服部 聖海

◆兵庫県

伊藤 善文
北野 実
佐竹 英文
谷川 勝一
中西 桂太郎
林田 至弘
横山 淳平

◆奈良県

佐竹 祥光
◆和歌山県
中井 克樹
堀 雄幸

◆鳥取県

岡田 信俊
榎尾 稔正
権田 淳一
島根県
原田 宏
堀江 禎正

◆岡山県

大塚 容二
衣笠 通亮
谷本 泰法
松本 誠
◆広島県
加藤 千政
小林 信行
佐藤 靖弘
鹿内 要秀
高崎 昭文
難波 典基
西河内 靖泰
西嶋 崇明
村上 壽孝
室積 幸生
吉見 昭夫

◆山口県

河上 桂子
西嶋 好文
藤 いね子
藤井 豊子

吉本 光良
◆徳島県
音瀬 泰彦
鈴木 宏
◆愛媛県
讃岐 大玄
森 佳範

◆高知県

中屋 康
◆福岡県
一瀬 安弘
栗原 正典
鈴木 陽一郎
刀掘 義弘
別府 敏雄
前川 耀子

◆佐賀県

永石 義雄
◆長崎県
野田 太郎
木寺 浩三
佐古 亮景
堀田 泰基
堀田 泰淳
持永 海鳳
森 光徳
吉村 政嗣

◆熊本県

上妻 信寛
白石 隆士
原川 雅臣
安永 弁裕

◆大分県

菊池 明智
桑野 直大
佐藤 俊雄
高山 善朗
土岐 光
宮崎 洋

◆宮崎県

瀬戸口 長経
◆鹿児島県
尾上 道雄
西原 静則
平岡 正見
◆沖縄県
小渡 敬一
金城 保雄
小橋川 春武
友利 直喜

愛蔵版『葛飾 北斎』発行にちなんで

立正大学特別荣誉教授 渡邊 寶陽

葛飾北斎（1760年～1849年）は《富岳三十六景》の「神奈川沖波裏」「凱風快晴」などでよく知られている。本書でも「斬新な発想と緻密な描写で人々を魅了」「世界を驚かせたスゴさ」とPRしている。

本書でも『富岳三十六景』（小学館）の著者として、また『もっと知りたい葛飾北斎生涯の作品』（東京美術）の監修者などとして、永田生慈の名が挙げられている。

永田生慈（1951年～2018年2月6日逝去（享年66歳）氏は、少年時代から北斎に関心を強くし、立正大学に、専門家の榑崎宗重教授が居ることを知り、立正大学に入学。卒業後、原宿の「太田記念美術館」に勤務し、副館長に就いた。その間、私費を投じて、故郷・島根県の出身地に「永田コレクション」を創設するなど、永田生慈氏は、生涯を「北斎」研究に生きた。北斎の作品が最も多く架蔵されているのは、永田氏の故郷、「島根県立美術館」であるという。「永田コレクション」2,398点が同美術館に寄贈された。

晩年、北斎の生地、東京都墨田区との縁で、「墨田区博物館」に《北斎館》を設置。館長を務めた。2019年1月17日～3月24日には、「森アーツセンターギャラリー」で「日本経済新聞社」主催により、『新・北斎展』が開催された。主催者の「ごあいさつ」には、永田生慈氏について次のように記載されている。「少年時代に北斎に興味覚えて以来、北斎の研

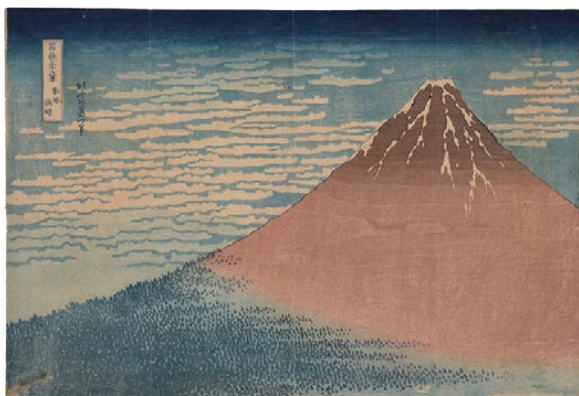
究に没頭し、私財を投じて北斎に関連する作品を収集してきた永田氏は、その研究の集大成として本展覧会を企画していましたが、残念ながら昨年2月に帰らぬ人となってしまいました。永田氏の長年にわたる研究成果を踏まえ、『富岳三十六景』や『北斎漫画』などの有名作だけに焦点をあてるのではなく、真の北斎の姿に迫る展示構成になるよう努めました。

（同展覧会図版掲載による）

十九世紀後半にジャポニズムと呼ばれる日本美術ブームがヨーロッパの芸術界に展開した。印象派の巨匠ゴッホ。先駆者のマネ。巨匠ドガ。象徴主義をリードしたモロー。等が北斎に惚れ込んだという。しかし、日本では浮世絵師の研究者はいなかったという。

そうしたなかで榑崎宗重教授は、「北斎研究者」として著名になる。実は榑崎宗重教授に浮世絵の手ほどきをしたのは木村捨三という家具職人であったという。筆者は木村氏に縁があり、榑崎宗重教授にそのことを話したところ、子細を聞いた。永田氏は、立正大学での榑崎宗重教授の綿密な指導を受けたのだった。

ヨーロッパの学者が、新たな発見をしたことをNHKが大々的に報道したことがあった。これも榑崎宗重教授を通してのことであった。思いがけないところで永田氏の名に接したことが嬉しくて、駄文を綴った次第である。



葛飾北斎 富嶽三十六景 凱風快晴



葛飾北斎 富嶽三十六景 神奈川沖浪裏

同窓会支部活動紹介

《新潟県支部 稲刈りのご報告》

◆9月27日(水)新潟県柏崎市

委託生産者の上野氏の田んぼで、同窓会本部・新潟県支部合同で「稲刈り」を行いました。

当日は、天候が心配されましたが、何とか実施出来て、鎌で手刈りをしました。

この活動は今年で4年目を迎え、収穫した800キロのコシヒカリは、大学の強化クラブ学生に届けられます。



同窓会学生支援紹介

《埼玉県支部》

陸上競技部駅伝部門とバレーボール部へ「明治ザバスプロテイン12個」、「スギ薬品栄養ドリンク500本」を贈呈。ラグビー部へもプロテインと栄養ドリンクを贈呈。



《茨城県支部》

茨城県支部では、強化クラブ(硬式野球部・ラグビー部(男子・女子)・サッカー部)と陸上競技部駅伝部門の皆さんに茨城県産のお米(ミルクィーQueen・コシヒカリ)を贈呈。

《徳島県支部》

徳島県支部では、練習後の疲労回復を図って欲しいとの思いから、陸上競技部駅伝部門へ徳島銘菓マンマローザを贈呈。

《熊本県支部》

熊本県出身学生へ、食品等の品を、校友課を通して学生へ送付し、個別支援を行っている。

《法学部同窓会》

法学部同窓会では、日々の練習に取り組んでいる強化クラブ(硬式野球部・ラグビー部・サッカー部・陸上競技部駅伝部門)へ水分補給と熱中症予防へ活用頂きたいと、アグエリアス12ケース(500ml・288本)を贈呈。

同窓会支部総会開催報告

《福井県支部総会》

◆8月19日(土)

16:00~20:00

◆ホテルリバービューアケボノ

◆総会・懇親会/講演会:
立正大学の現在・養珠院
お万の方

◆学長 寺尾英智先生



《北海道支部総会》

◆8月26日(土)

16:00~20:00

◆ホテルポールスター札幌

◆総会・懇談会/講演会:
立正大学の現在・養珠院
お万の方

◆学長 寺尾英智先生



《新潟県支部総会》

◆8月26日(土)

13:00~17:00

◆パストラル長岡

◆総会・懇親会/講演会:
少子化と大学教育~その
戦略 立正大学の取組~

◆副学長 位田央先生

◆強化クラブの監督(杉田監督・堀越監督・中村監督)の先生方にもご参加いただきました



《熊本県支部総会》

◆8月27日(日) 16:00~20:30

◆ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

◆総会・懇親会/講演会: これからの同窓会の役割と運営

◆同窓会長 齊藤岐代末氏

《長崎県支部総会》

◆9月9日(土)

16:00~19:30

◆長崎サンプリエール

◆総会・懇親会/講演会:
歴史に学ぶ!長崎よもや
ま話

◆山口広助先生



《福島県支部総会》

- ◆10月14日(土)
14:00~20:00
- ◆土湯温泉 ホテル山水荘
- ◆総会・懇親会・講演会
- ◆澤村和明氏(本学経済学部卒業・平田村村長)
- ◆同窓会長 齊藤岐代末氏



《愛媛県支部・香川県支部合同研修会》

- ◆11月11日(土)
- ◆日蓮宗妙清寺
- ◆研修会:日蓮上人とは/懇親会
- ◆同窓会長 齊藤岐代末氏



《長野県支部総会》

- ◆11月18日(土)
14:00~19:00
- ◆ホテルモンターニュ松本
- ◆研修会(松本市立博物館見学)・総会・懇親会



《東京都支部・経済学部同窓会合同総会》

- ◆10月21日(土)
15:00~20:00
- ◆日蓮宗 蓮紹山 瑞光寺
- ◆総会・懇親会
- ◆同窓会長 齊藤岐代末氏



《沖縄県支部総会》

- ◆11月11日(土)
19:00~21:30
- ◆ダブルツリー by
ヒルトン那覇首里城
- ◆総会・懇親会/講演会:
立正大学の現在地と沖縄研究
- ◆副学長 鈴木厚志先生



《経営学部同窓会》

- ホームカミングデー開催
- ◆11月11日(土)
17:15~19:30
- ◆品川キャンパス学生食堂
- ◆経営学部事務室合同開催



同窓会千葉県支部創立60周年記念講演会開催報告

千葉県支部は創立60周年を迎えます。ここに大きな志を抱き当会を立ち上げた偉大なる先輩方に敬意を表すとともに、60周年の長きに渡り活動を継続された歴代の皆様に心より感謝申し上げます。

- ◆11月25日(土) 14:00~16:00
- ◆ロータスホール
- ◆記念講演会講師:きゃん ひとみ氏
(ラジオパーソナリティー・フリーアナウンサー)
本学文学部卒業・沖縄出身
- ◆記念講演会后、学生食堂にて懇親会を開催しました。



きゃん ひとみさん 立正大学同窓会 千葉県支部 創立60周年記念講演
左:きゃん ひとみさん
右:三線 平安座 美央さん



出口支部長挨拶

齊藤同窓会長祝辞

キリンビール横浜工場見学・懇親会

(経営学部同窓会/橘経営倶楽部主催)

卒業生、親兄弟、配偶者、パートナー様方のご参加をお待ちしております。お一人でもお気軽にお越しください。

場 所: キリンビール横浜工場 京浜急行電鉄「生麦駅」
(現地集合・現地解散)

日 時: 2024年3月10日(日) 10時頃~15時予定
※2月予約開始のため、日時確定後に参加者様にはお知らせします。(辞退可)

参加費: 3,000円

人 数: 先着40名

問合先: 林 090-6007-5818
または rissho.keiei.dousoukai@gmail.com

締 切: 2024年2月20日火曜日
右記QRコードからもお申込み頂けます。



データサイエンス学部

「リスキリング講座(仮称)」に関する調査へのご協力をお願い

立正大学データサイエンス学部では、校友を対象に、データサイエンスに関するリスキリングを目的にしたオンラインによる講座の実施を検討しております。

リスキリングとは、「新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する／させること(リクルートワークス, 2021, https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/digital_jinzai/pdf/002_02_02.pdf)」とされています。

経済産業省(2022, <https://www.mhlw.go.jp/content/11801000/000894640.pdf>)は特にデジタル分野とグリーン分野といった成長分野での雇用を想定し、リスキリングを推進しています。

例えば、カメラや複合機などで有名なキヤノンは、工場従業員を含む1500人にクラウドや人工知能(AI)の研修を実施し、医療関連への配置転換を通じ企業の成長と人材の確保を目指しています(日本経済新聞社, 2021年7月7日)。

個人を対象としたリスキリングの例としては、NHK「クローズアップ現代」が取材した「糸満でじたる女子プロジェクト」があります。このプロジェクトは、糸満市在住の成人女性を対象にしたDX人材育成と就職支援を目的とした教育活動で、多くの女性が経済的な自立を果たしています(<https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0020/topic058.html>)。

この講座を通じて、校友の皆様が、現在のあるいは将来の職場において必要になるデータサイエンスに関するスキルを身につけていただければと考えております。

現在、講座の開設にあたって、校友の皆様のご希望を把握したく、以下のURLで調査を行っております(締切令和6年2月29日)。

<https://forms.office.com/r/JXgXhtXFw0>



お忙しいことは存じますが、何卒、皆様のご希望をお聞かせいただきたく
お願い申し上げます。

立正大学学園卒業生応援サイト「橘の樹」

卒業生応援サイト「橘の樹」運営見直しについて(ご報告)



平素より立正大学学園の教育活動、ならびに式典運営等にお力添えを賜り、誠にありがとうございます。

さて、令和5年5月17日より運営を開始いたしました卒業生応援サイト「橘の樹」でございますが、運営委託先であります『大和リゾート株式会社様』の通販事業終了に伴い、令和5年10月31日をもって委託業務を終了することとなりました。これに伴い、本サイトも運営の見直しを余儀なくされ、令和5年10月31日をもちまして卒業生応援サイト「橘の樹」を、一旦閉じさせて頂く運びとなりましたので、ここにご報告申し上げます。

これまで当サイト運営に際しまして、ご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。





第28回 令和5年度橘会奨励賞募集を開始します



橘会では学生を対象に、学術・文化・体育・慈善行為・その他広範囲の分野において活躍または努力した個人・団体を表彰しています。

自薦・他薦を問いませんので、奮ってご応募お待ちしております。

《応募に関する詳細》

- ◆ 応募資格：本学に在籍する学生（個人・団体のどちらでも可）
- ◆ 応募締切：令和6年2月20日（火）消印有効
- ◆ 応募方法：校友課、または校友会ホームページ（<http://alumni.rissho.jp>）で配布している応募書類に必要事項を記入し、参考資料（賞状等）を添えて校友課までお申込みください。



令和5年度 立正150橘会基金 報告

橘会（保護者の会）では、昨年度より、学生支援の一環として「立正150橘会基金」を開始しました。今年度も、前期（6月）・後期（10月）の2回に分けて、勉学意欲があっても家計の困窮等により学費支弁が難しい学生に向けて奨学金の支援を行いました。

採用者は前期6名、後期4名となっており、採用者には、300,000円の奨学金支給を行いました。

【立正150橘会基金】

《設立趣旨》

過去からの保護者の皆様から頂いた会費を有効活用することを目的に、長期間にわたり学生支援を行う方法として基金を設立し奨学金支給を行う。

《原資》

立正大学橘会積立金 100,000,000円を当てる。

《支給金額》

1回につき300,000円

《支給対象人数》

若干名

《募集時期》

前期：6月 後期：10月 年2回

《対象学生》

成績に関係なく環境や経済的状況による学費の支弁が困難な学生および家計急変による勉学が困難となった学生へ支援。

《問い合わせ先》

立正大学学長室校友課

TEL：03-3493-6673 Email:alu@ris.ac.jp

INFORMATION

立正大学生涯メールに関するご案内

立正大学では、卒業生・修了生が卒業後も使用出来るメールサービスを行なっております。

同窓生同士の交流を始め、大学との情報交換等にご利用頂ければと存じます。

メールサービスは無償・永年利用可能となります。

ただし、生涯メール利用のお申込後、1年間メールサービスへのログインが無かった場合は、メールサービスの管理上、利用を停止させていただきますので、ご了承ください。

なお、メールご利用の再開につきましては、学長室校友課宛にご連絡をください。ご利用再開のお手続を行わせていただきます。生涯メールにつきましては、校友会ホームページにも掲載がございますので、併せてご参照ください。

[\[立正大学校友会ホームページ\]](https://alumni.rissho.jp/inquiry/mail.html)

<https://alumni.rissho.jp/inquiry/mail.html>

[\[お問い合わせ先\]](https://alumni.rissho.jp/inquiry/mail.html) 学長室校友課

(TEL) 03-3493-6673 (Email) alu@ris.ac.jp

校友会会員情報について

ご登録を頂いておりますお名前・ご住所・電話番号・勤務先等のご変更および訂正等がございましたら、下記までご連絡ください。

【変更内容】

- ◆氏名 ◆ご住所 ◆電話番号
- ◆メールアドレス ◆勤務先・職業

*変更に関するご連絡を頂く場合には、校友会会員番号(校友会報・学園新聞同封の葉書に記載されているA・B・C・Dのアルファベットではじまる7桁の数字)を併せてお知らせください。

【お問い合わせ・お届け先】

立正大学学長室校友課

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

☎03-3493-6673 FAX: 03-3493-9068

Email: alu@ris.ac.jp

■専用紙は立正大学校友会ホームページよりダウンロード頂けます (<https://alumni.rissho.jp/inquiry/data.html>)

【お知らせください】

◆卒業生の活動情報やクラブ・サークルOB/OG会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の方のご活躍情報ございましたら、お寄せ下さい。

令和5年度校友会費B (卒業生・現元教職員会費)のご案内

令和5年度校友会費B(卒業生・現元教職員会費)につきまして、ご協力をお願い申し上げます。

■ 令和5年度 校友会費Bについて

会 費	年会費
納入期間	2023年4月1日～2024年3月31日
納入回数	年会費のため、上記期間内1回
氏名掲載	校友会費Bをお振込みいただきました方のお名前を会報に掲載させていただきます。つきましては、掲載を①「許可する」、②「許可しない」のご希望をお伺いしております。お手数ではございますが、振込用紙の通信欄に記載がございますので、どちらか一方に○印をお付けいただき、お振込みくださいますようお願い申し上げます。 なお、どちらにも記載が無い場合には原則掲載を「許可いただいた」ものとして掲載させていただきます。ご了承ください。

教職員訃報

元文学部哲学科教授 久米 博 氏 (令和5年9月16日 逝去)

元文学部特任助教授 相川 政行 氏 (令和5年10月19日 逝去)

謹んで哀悼の意を表します



発行者

発行人

編集

電話

URL

立正大学校友会

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

立正大学長・校友会長 寺尾英智

立正大学学長室校友課

03-3493-6673

<https://alumni.rissho.jp/>